

Vol.52

2015年3月10日

学校法人コア学園
飯田コアカレッジ
〒395-0823 長野県飯田市松尾明 7591
TEL0265-22-5111・FAX0265-22-5100
URL●http://core.ac.jp/icc/
E-mail●info@iidanet.or.jp

大きな夢実現に向けて、堅実な歩みを!



三遠南信道路の建設工事が着実に進行している事に加え、今年からリニア中央新幹線の工事も本格的に始まります。伊那谷、特に飯伊地区発展の夢を叶えるために、様々な取り組みが模索される中、これからの地域を支える若者への期待は益々大きくなっています。社会に巣立つ皆さんには、大きな希望を胸に、自らの仕事に自信と誇りを持って、地域発展に貢献してほしいと願っております。皆さんのご健闘ご活躍を心から期待いたします。

南向きの大きな窓

謙虚な態度で、日々の努力を!

学校長 坂巻道弘

昨年、多くのスポーツ選手の活躍が私達の心を明るくし、勇気を与えてくれました。フィギュアスケートの羽生選手、スキージャンプの高梨選手、テニスの錦織選手をはじめ、ボクシングの世界チャンピオン達、水泳、卓球、バドミントンや箱根駅伝の青山学院大の選手達など、枚挙にいとまがありません。選手達の活躍は、勝利への強い意志を持ち続け、日々の厳しい練習に耐えた結果であることは誰もが認めるところで、勝利を手にし、インタビュに答える選手達の、苦労したことなどおおくにも出さない、謙虚で爽やかな態度は、更なる感動を与えてくれました。はち切れんばかりの笑顔と、「まだまだです、これを期に、さらに努力を重ねたいと思います。」という言葉からも。

新しく社会に巣立つ皆さんにとって、時には自分の仕事、厳しくて大変だと思ふ事があると思ふます。しかしその厳しさに果敢に立ち向かい、常に謙虚な態度で、日々の努力を重ねてほしいと思ふます。その努力は、誰かが必ず見守っていてくれます。仕事が面白くなり、期待される社員になる日がすぐによってくるはず。

さて、今年(乙未)から、リニア中央新幹線の工事が本格的に始まります。長野県の玄関口となり、伊那谷、特に飯田下伊那地域の夜明けになるとの大きな期待を受けての開通は、十二年後の未年二〇二七年と発表されています。品川一名古屋間を四十分で結び、全区間の八十六%をトンネルが占める夢の新幹線は、翼のない飛行機で暗闇を飛ぶような感覚なのではないでしょうか?早く乗ってみたいものです。

今後、様々な問題にぶつかりながらの工事になることが心配ですが、世界のトップレベルにある日本の掘削技術が、全ての問題を解決してくれると、皆が確信している事も確かです。開通までの十二年間は、多くの工事関係者で賑わい、関連施設の建設ラッシュに沸き、この地域は間違いなく活気ある地域になります。開通後に如何にその賑わいを継続させるかが、これからの大きな課題です。卒業される皆さんは、二〇二七年には、それぞれの企業の中堅社員としてバリバリ仕事をしてほしいと思ふます。常に時代を先取りし、前向きな発想で自信を持って仕事に専念してほしいこと、そしてそれぞれの企業がリニア中央新幹線開通の恩恵を実感できるようにすることを願っています。

卒業する皆さんの、ご健闘、ご活躍を心から祈念いたします。

仲間との思い出を胸に、社会へ...



二年間を振り返って

市岡 拓美

私は、プログラミングを学びたいという思いがあり、地元就職にも力を入れている飯田コアカレッジを知り、様々な検定に挑戦できるところに魅力を感じ、ITスペシャリスト学科に入学しました。

学科別の授業では、最初はプログラミングの基礎であるC言語を勉強しました。入学前からプログラミングには興味があり、独学で勉強してみようと思いましたが、なかなか思い通りに進めることが出来ませんでした。ですが、授業では基礎的な事から分かりやすく解説してくれるので、理解を深めることができました。

一年の後半からは就職活動が始まり、就職試験対策の授業ではビジネスマナーや名刺交換など、就職してから役立つことなどを勉強してきました。入社したら、就職試験対策の授業で学んだことを忘れないで頑張りたいです。

二年の夏に行われたパソコン教室では、「インターネットで生活を便利に!!」というテーマで企画し、私は講師を担当しました。当日はリハールサル通りに行かないところもありましたが、受講者の方に「またやって欲しい」と言っていたので、このテーマで企画をして良かったなと思いま

した。

毎週火曜日は体育館でサークルがあり、バスケットボール、バレーボール、フットサルなどをしてスポーツ大会が近くなるとバレーボールやバスケットボールなどを練習しました。スポーツ大会では、体育祭実委員としてスポーツ大会の企画と準備などをしました。スポーツ大会当日はチームで協力しながら楽しむことが出来たので良かったです。

この二年間で学んだことを活かして、これからも頑張っていきたいと思っています。

二年間を顧みて

川島 佳晃

三月に卒業を控えた今、この飯田コアカレッジに通った二年間を改めて振り返ると、これまでの学生生活では得難かった、数多くの貴重な経験を積むことができたように思う。

何より、今まで興味はあったものの手を付けてこなかったコンピュータ関連、IT分野の学習に身を入れて取り組めたことで、結果的にその分野に就職する機会を得て、技術者として働く上で必要な知識と技能を身につける事ができたのは、自分にとって非常に大きな収穫であった。

そして、今まで学んだことは別の分野に取り組むという切っ掛けを得られたことや、数多くの資

二年間

畑 和輝

私は多くの資格を取得したくてこの学校に入学しました。一人暮らしを始めたので慣れない環境での生活はとて大変でした。

一年生の初めに新入生歓迎会がありました。歓迎会ではボウリングと焼肉をやりました。周りとはほとんどが初めての人だったのでとても緊張していましたが、歓迎会が終わるころには少しは仲良くなれたんじゃないかと思っています。

スポーツ大会ではソフトバレーやドッジボールをやりました。あまりやったことのないものばかりだったけれど楽しくできました。あまり話したことのない先輩とも話す機会ができて、とても良いスポーツ大会だったと思います。

一年の春休みと二年の夏休みに、学生主催のパソコン教室を開催することがありました。五人から六人でグループを作ってやり取りをしました。私は一年のときにリーダーをやりました。仕切ったりまとめたりすることが苦手なのでうまくできるかが心配でしたが、グループの皆が協力してくれたおかげで何とかやり遂げることができました。

就職活動では、履歴書を書くのに苦労しました。私は字が小さいので履歴書のサイズに合わせて書くのが大変でした。ハンコもあまり押す機会がなかったため、曲

がたりずれてしまったことが多く何回も失敗しました。応募書類を作成しているとき、期限が迫っているのに履歴書が完成してなくて徹夜をして履歴書を作ったことがあり、履歴書のストックを作っておけばよかったと後悔しました。無事に内定をいただけてよかったです。

この二年間の学校生活と一人暮らしで、ここに書ききれないくらい色々な経験をしました。この経験を社会に出ても生かして頑張りたいと思います。

二年間の思い出

堀 知海

私が過ごした飯田コアカレッジでの二年間には、様々な出来事がありました。

一年生の頃は、ぎこちなく教室がとても静かだったのを覚えています。

他に学校の印象は、先輩や先生方がとてもフレンドリーで過ごしやすい環境の学校だな、とも思いました。

一年生の秋のスポーツ大会の後、初めてクラスのみんなでご飯にいきました。私は高校生の頃から友達とご飯に行くのがとても好きだったので、クラスのみんなでご飯に行けたときは嬉しかったです。意外な一面や、本音が聞けたりして仲が深まった出来事の一つだったなと思っ

ています。

一年生の終わりに、自治会長を決めることになりました。私はどうしても自治会長になりたいと思っていました。理由は、学校で行う企画や活動に中心になって関わりたいなど思っていたからです。お陰様で、先輩の卒業研究発表会の企画・運営、卒業パーティの企画など、貴重な経験ができました。これらの経験を活かして、これからも少しでもリーダーシップを発揮できるようになりたいと思っています。

二年生になつてからは卒業研究に向けて頑張りました。飯田コアカレッジの卒業研究は高校生の時に見学させてもらったので、自分が発表するときも思い出に残るような卒業研究にしたいと思っていました。

卒業研究のテーマが企業連携によるものだったので、将来的にとっても貴重な経験をしました。企業とのやりとりや相手の要望を聞く力、提案力やプレゼンテーション能力など、システムを開発する力とは別に、相手に対してどのように自分の頭の中のイメージを伝えるのか、相手のイメージを自分のイメージとどのように一致させるのかコミュニケーションすることが難しかったです。

卒業に向けて、勉強、人間力、スキルなど今よりもっと高めていきたいと思っています。



「二年間を振り返って」

宮澤 貴裕

私がこの学校で過ごした二年間を振り返ると、うれしかったことや後悔したことなどがありました。なかなか充実した二年間でした。

まず、一年生の頃は授業で出される課題があまり多くはなかった。必要資格を取ったり、遊んだりして割と穏やかな生活でした。普段の生活でもあまり体を動かすことがなかった。大会の時はいい運動になる反面なかなか辛かった。また、スポーツ大会などのイベントを通じてクラスメイトと仲良くなるきっかけになりました。

さらに、一般の人たちを対象としたパソコン教室もありました。一回目のパソコン教室では、教科書作成を担当しました。最初はどやうやってやればいいのかわからなかったですが、仲間と協力して無事にパソコン教室を成功させることができました。二回目のパソコン教室は補佐でしたが、パソコン教室は二回目だったのでそこまで緊張はしませんでした。しかし、自己紹介の時にめちゃくちゃ噛んでしまいました。

二年生になり、就職活動が本格的になってきました。今になって、もっと早くに行動をしっかりとすればよかったと思います。周りの人たちが次々と就職先が決まってくると、次第に自分の中で不安と焦りが増していき、名古屋まで会社の試験を受けに行っ

たのに決まらなかったことでした。名古屋までの往復代金が自腹だったことがショックでした。ですが、今回就職活動をして改めて思ったことは、早めの行動と積極的な行動、そして試験を受けるための事前準備をしっかりするなどといったことが大切だと感じました。

最後になりますが、この二年間は、自分の中で沢山の資格を取ったり、就職活動をしたりといういろいろな経験を積むことができた二年間だと思いました。



二年間で学び得たこと

吉本 駿

この二年間でシステム職についての知識だけでなく、考え方についても学ぶことができました。自分はITスペシャリスト学科なので、ここで得た知識、経験を活かし将来はシステム職に就きたいと思っていました。

システム職についての考え方を学ぶことができたのは、学生主催のパソコン教室です。メンバーと共にユーザーの求めているものを考え、時間をかけて準備をしましたが、受講生の皆さんがパソコンの初心者ということと、高齢者の

方が多かった事もあり、専門用語、略語などはもちろん使えず、細かい部分の説明など気を付ける事が多々ありました。当日は、簡単だろうと思って講座を進めました。が、解説をしていて解りにくい所があったり、ペースが速くてついていけないなどの声もあり、進行が少し遅れてしまいました。自分にとっては勉強になりました。

就職活動をしていて、ある企業の方がシステム職はまさに、そのパソコン教室のような業務だ、と話してくれました。その理由は「大体の顧客はシステムの事には詳しくなく、大体こんなような感じのものを作ってほしいとの要望に対して、自分の頭の中でイメージを決めて、話すときも専門用語は使わず解りやすく話しあいながら作っていくからだ。」ということでした。

この話を聞いて二回目のパソコン教室はもっと解り易くすることを心掛けようと思い、ご高齢の方には、パソコンで何ができてどんな楽しみ方ができるのかを重点に置き、タイピング練習、インターネットでできる事、パソコンの操作方法など初歩的な内容を教材としました。結果は「解り易かった。」「これからのいろと楽しみが増えた。」などの嬉しい評価をいただくことができました。

就職試験での面接では、システム職の概要について漠然ではあるが理解している状況で臨むことができ、二回のパソコン教室の経験も自信に繋がり、念願のシステム職に内定をもらう事が出来ました。

学校生活を振り返って

若尾 なつ美

本校で過ごした二年間は、数多くの検定に加えて期末試験、数々の勉強、就職活動もあり、とても忙しく厳しいものでしたが充実していました。

資格がゼロの状態から入学しましたが、二年間を経て十個以上の資格を持つことができました。検定は、難易度が低いものから高いもの、興味があるものやないものまで様々でした。一番苦労をしたのは、ITパスポート試験です。私にとって内容が難しく、過去問がほとんど出題されないもので、とにかくがむしやらに勉強をし、結果はギリギリ合格でした。合格は合格なので、とても嬉しかったです。興味があったのはWEBクリエイター能力認定試験です。ホームページ作成には元々興味があり、一から勉強できる良い機会、勘違いしていたことや知らなかったことをたくさん学ぶことができました。卒業後も勉強を続けようと思っています。

他ではできない貴重な体験をすることもできました。「IIDA 2027 リニア未来都市プラン デイニング」に協力した際には、ポスターのデザインをしました。第一回目のシンポジウムのポスターに私のデザインが採用されたのがとても嬉しかったです。更に、普段会うことができない有名な方々にお会いできたのも印象的でした。スタッフの方々にはとてもお世話になったので、今後でもできる範囲で協力できたらな、という

気持ちです。就職活動は、何か行動を起こす度、ミスをしたり緊張をしてみたり、迷惑をかけてしまったり、その中で面接のコツやビジネスマナーを学び、無事に内定を頂けたのは、施設の方々、先生、友人、家族と、たくさんの方々の支えがあつてこそだと感じています。まだ働くことに多くの不安を抱えています。諦めずに進んでいきたいです。

寂しいことは、卒業後は友人とバラバラになってしまうということです。二年間一緒に作った思い出を忘れないよう大事にしていきたいです。

二年間

和田 健

自分がこの学校に入学した理由を正直に言うと、高校を卒業する前に一度だけ企業に面接に行ったときなんの知識もなく、面接に行つた理由も家から近いからという理由のみであり、そこで働きたいとは思っておらず、面接の内容等の準備もせずに会社訪問や面接に行つたため内定はもらえませんでした。

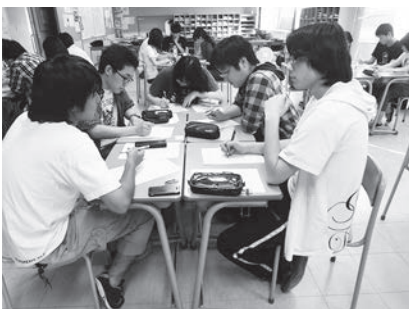
そこからこの企業も興味がなく、自分のしたいことも見つからないまま卒業間際まで迫ってしまひ、どこも行く気がしないけど仕様がなからどこか決めようと思ひ、兄が通っていたからという理由のみでこの学校に入学することを決めました。

実際、一年のころは高校時に不規則な生活をおくっていたし、クラスメイトも知る人がいないし二

年生も知ってる人がいなく、新入生歓迎会などもストレスにしかならなかったのを覚えています。高校ではなかった慣れない九十分授業でさらにストレスで押しつぶされそうになったことが何度もありましたが、そこで一度休んでしまふとまた中学や小学校のころと同じようにもう一日もう一日と休んでしまふような気がしたので、なるべく休まずに学校に通いました。

二年のころは、授業にもなれて一年のころよりは新入生歓迎会やスポーツ大会などを楽しめるようになったのですが、就活の時期がきたときにまた高校のころのように悩まなければいけないのかと嫌になりました。結局は兄の会社に就職が決まり、気持ちが楽になったことで余裕が出てきました。クラスメイトの友人と遊びに行く機会も高校のときと比べて多くなったので、そこだけはよかったと思います。

結局この学校に来た意味はいまだに分りませんが、友人との思い出は残せたのでよかったです。



卒業です

牛山 峻介

早いものでもう卒業です。二年間というものはおつという間で、辛く面倒なことの多かったコアカレッジでの生活もやっと終わりを迎えるときが来ました。本当に文字どおり「卒業です」感じがします。

今回学校生活を締めくくるにあたり、こうして作文を書くように言われてしまいました。面倒くさがり屋の私には何ともつらい作業です。こうやって文字数を稼ぎつつ、何を書こうか迷っているところです。

さて、卒業にあたり思っていることということで、今回は学校に対して思っていることでも書こうかなと思います。

まず何かにつけてスーツを着ることの多い学校生活でした。コアカレッジでは就職試験対策という就職に向けた授業があり、なにかある時にはスーツで授業を受けることになりました。私自身スーツが嫌いというのがありますが、おかげで卒業前に新しいスーツを買ったことになり、良かったことといえば、ネクタイの締め方を覚えられたことと内定をいただけたことです。

次にお金が結構かかりました。学生である私たちには資格試験の検定料はなかなかつらいものがあります。専門学校だからお金がかかるのはわかるのですが、受けないといけない試験が多く、受験料の高い資格には、バイト代の三分の一くらいしかかかり、せめて遠く

に行かなければ受けられない試験は、どこかでお金を出してくれるとありがたかったです。落ちた検定と受けなかった検定があるからそう思うのかもしれませんが、文字数のまだまだありますが、文字数の都合上今回はこのくらいというところで。

案内六〇〇〇八〇〇文字というのはすぐに達するものだなとか思いました。(笑)

ちなみにここまでで約六七〇文字で規定文字数の半分はとうに超えています。やったね。

というか教務の先生硬すぎです。大量の書き直しはつらかったです。

さて、ここまでご清聴?してくださった方、ありがとうございます。最後に。

反省はしている。けど後悔はしていない。
以上、牛山でした。



飯田コアカレッジ卒業にあたって

片桐 康汰

私が飯田コアカレッジに入学して二年がたち、もうすぐ卒業となりました。卒業にあたり私はこの学校でたくさんのことを学び、社会人になるためのスキルを身につけることが出来ました。この学校に入学を決めた時も、就職に向けて資格を取りたいという目標がありました。

一年生のときは初めてやるようなパソコンを使った授業が多く、慣れて理解できるようになるまでに時間がかかりました。困ったときは先生やクラスの友達に聞いたりしました。尋ねると皆、丁寧に分かりやすく教えてくれて、勉強が苦手な自分はとても助けられました。資格をとるのは容易ではなく、初めて合格できたのはMOSのPowerPointでした。

資格はそれ以降、少しずつとることが出来るようになりました。合格した時に感じたことは改めて自分で頑張った結果が出たことと、周りの人たちの支えもあったことだったと思います。

私は入学した当初はいとこの樽澤君としかあまり話さず、クラスメイトとは全然なじみずけにいました。学校生活を送るうちに行事などをとおして、次第に話せる人も増えてきました。

学校の行事でもあるスポーツ大会では、普段あまり学校では体を動かさないことが多かったため、とても楽しく体を動かさせてクラスメイトとの交流もできてよかったです。

二年生の時に進路で何の仕事しようか悩んでいた時に、遠山先生に性格からみて介護を目指すのはどうだろうという意見をもらいました。私は最初、介護の仕事というのには抵抗感があり、あまり乗り気ではありませんでした。ですが福祉施設での体験や見学、介護の説明会、初任者研修などを通して自分の考えや目標が少しずつ変化していきました。

この学校に入学をして辛いこともありました。色々な経験がたくさんできてよかったです。

二年間を振り返って

坂積 昌哉

この学校で過ごした二年間を思い出して、特に記憶に残っているのは三つあります。

一つ目は検定試験です。中学、高校のときは、検定勉強をしたことがなく興味もありませんでした。学校に入ってから最初の頃は、単位のために勉強をしていました。

初めて検定に受かってみて、受かったことがうれしくてそれから学校から帰ってからすぐに勉強をしていました。そのおかげで、販売士、簿記、Microsoft Office系、情報活用試験、日本語検定、硬筆書写などの検定に合格しました。卒業してもいろいろな検定を受けていきたいです。

二つ目はスポーツ大会です。スポーツ大会では、ソフトボール、バレーボールをやり、僕自身もスポーツが苦手でしたがみんなのおかげで楽しくスポーツをすることができました。スポーツを通して

一年生や先生とも交流ができ、とても素敵な時間が過ごせたと思います。

三つ目はRYLAです。RYLAとは、ロータリークラブで行っているリーダーシップ養成プログラムのことで、二年生の一部の人達が、夏休み中にこのプログラムに参加しました。行ったことは、参加者が事前にテーマを選び、選んだテーマについてプレゼンストリーミングのようなものをして、最終的に参加者全員の前で発表します。参加者には、学生だけでなく社会人の方々が参加していました。社会人の方とお話ができ、とても貴重な時間が過ごせました。

この二年間は、時間の流れがとても早く感じました。最後に、校長先生をはじめ先生方、クラスの方々に感謝申し上げます。

「ある一人の学生最後の思ひ出」

櫻井 愛斗

卒業生のみなさん、ご卒業お私の学校生活最後の二年間の思い出は三つあります。一つ目は、スポーツ大会です。今までスポーツ大会は足を引く張ったり、嫌な思いをしたりの繰り返しでつらいことばかりでした。しかしこの専門学校では、自分のやり方で、先生方や先輩方などからサポートや「ドンマイ」などの掛け声などが頻繁にありとても楽しいスポーツ大会でした。そして、掛け声やサポートを自分から一歩前に出ることがコミュニケーション能力の向上につながり、協力からなるチームワー

クの良さが改めてわかった気がしました。

二つ目は、検定試験です。中学時代までは検定に興味がありません。高校では強制的に受ける試験ばかりで他にどんな検定があるかわかりませんでした。ですが、二年間を通して自分のやりたいことを見つけ、ExcelやWordなどの検定をできるだけ受け、より多くの資格取得を目標にいくつかの資格を取得していききました。一年の前半でもう少しやる気を出してもっと多くの資格を積極的に受けておけばよかったと少し後悔していますが、履歴書が埋まるくらいの検定に合格できたのでよかったです。

三つ目は、リニア未来シンポジウム・IDA2027の参加です。企画内には参加しなかったものの鼎文化センターと丘のまちフェスティバルの前夜祭で行われた、リニアシンポジウムに参加しました。参加することによって、飯田市がこれからやることや現在実施している企画など自分の中で思っていたことを学ぶことができ、飯田市により恩返しをしたいと思いました。

その他にも、今までにないさまざまな楽しいことや苦しいことなどの出来事があり、学生生活最後の大切な思い出ができたと思います。



思ふ

館野 春美

この二年間の学校生活を振り返ると早かったように感じます。なるべく多くの資格を取りたいと思い入学しましたが、検定もたくさんあり、予想以上に検定に力を入れていたことを実感しました。しかし、資格取得までに悔しい思いも、努力が足りなかったかなど痛感しました。けれど、簿記など何度も検定を受け、合格した時は大変嬉しかったです。

リニアプランディングでは、一年生の時にチラシを制作させていただけでしたが、たくさんの人に来てもらうような作品ができたのか未だ疑問です。しかし、ポスターやチラシ、Webの完成までの過程を知ることができたことはよかったです。リニアプランディングを通して様々な人と交流ができたこと、飯田市のプランディングに携われたことは大変貴重な体験となりました。

学校行事を通して、物静かだった皆さんとも徐々に言葉交わすようになり、今思えば勉強より話すために来ていたように思います。行事だけでなく勉強会も開き、学年を超えて交流できたことも楽しく感じました。あれしこれしと口を出していたかもしれませんが、最後までバカ話ができる友人を持てたことは嬉しいことだと思います。

就職も無事に決まり、就職先ではアルバイトもさせていただけます。履歴書作成では先生方に頼りすぎだと思っほど頼りました

が、就職が決まり、報告した時に喜んでくれたことはとても嬉しかったです。

この学校で学んだことや体験したことも大切ですが、先生方や友人の繋がりが大切になっていきたいです。

卒業

秦 治雄

高校時代私は進学か就職か悩んで・・・というか、どちらでもよいと考えていました。そんな中でいざ就職について調べてみると、高校卒業&低偏差値のダブルパンチでまともな就職口は見つかる気がせず、やむを得ず就職は諦めなければならなくなりました(そんな中、見事JRへ内定をいただいた友人がいたことは内緒。そこからは、県内外の学校、主に専門学校を適当に調べ、姉の勧めもあり、この飯田コアカレッジへ入学することにしました。

入学前、噂でここはやんちゃ坊主がうじゃうじゃいると聞いていたので、内心震えていました。いざ入学式へ出席してみると全然そんなことはなく、むしろ真逆の印象を受け、逆に拍子抜けをしてしました。

そこからの学校生活は書ききれないほど思い出がありますが、中でも一番印象に残ったのが、先輩たちの卒業パーティーです。お店を貸し切り、先生方と卒業生、在校生の大勢で楽しく料理やおしゃべりを楽しみました。卒業生たちは特にテンションが高く、お酒でも入っているのでは?と思ってしまうほどでした。すごい楽しそ



うだったので、私も早く卒業パーティーがしたいんだ!(*´▽`*)そのためにはまず卒業研究や内定先からの課題等々やるのがたくさんありますが、みんなに力を借りて、無事卒業できることでしょう・・・。

この二年間、特に就職活動では先生方に、大変お世話になりました。特にまつくんは、細かいミスや、色々な場面を考えた面接の応答など、口を酸っぱくして熱心にしごい・・・指導していただき、まことにありがとうございませした。校長先生は、面接に自信が持てなかつた自分を上手いことよいしょしてくれました。ありがとうございませした。他の先生方も非常にためになるアドバイスを何度も下さりました。とても助かりました。

何はともあれ卒業ということ、なんだかんだ自分によく頑張ったな!と思つてます。お疲れ様でした。

二年間+αを振り返って

福澤 理恵

飯田コアカレッジに入学する、五年ほど前になりましたか。私は名古屋にある医療系の専門学校に入学しました。が、色々あって、三年ほど通ったけれど退学しました。

それから二年ほど、やる気なく、だらだらと過ごしていました。このままではいけないと思い、一度は店の販売スタッフのパートをやりましたが、そんな状態の私が続けられるはずもなく、三か月と持ちませんでした(ですが、この経験は販売士検定の勉強で役立ちました)。

そんな生活をしていたある時、高校からの友人たちと食事をする機会に恵まれました。久々に会った友人たちは皆、就職し働いていました。友人たちの、仕事に関して生き生きとした目で語っている姿に、なぜか急にやる気が出てきました。

ここからは、やる気のなかつた何年か分を一気に返上できるのではないかというほど、あつという間でした。一月の終わりにくらいい新聞でこの飯田コアカレッジの一般募集の広告が載っているのを見て、「二年間二つと二年間学生なら、学生の方が就職しやすくない?」そうだ! 学校へ行こうと某キャッチフレーズのようなノリで、新聞の番号へ電話をし、説明を聞きに行き、入学試験を受け、無事、四月の入学に合いました。

入学してからは、何もかも本当

に楽しかったです。一年の十二月くらいまでは、驚くほど静かなクラスでしたが、気づけば打ち解け、今ではワイワイ、ガヤガヤとしたクラスになりました。にぎやかすぎる時もあります。

また、二年ほど勉強しなかつた反動か、勉強するのが楽しくなり様々な検定に合格することができました。就職も無事できました。実にはありがたいことです。勉強に励み、クラスの皆と楽しくおしゃべりし、今まで経験した学生生活の中で、最も学生らしい生活ができました。

最後になりますが、こんな私を支えてくれた家族、先生方、クラスの皆、本当にありがとうございませした。

「僕のゆづり」

松島 慎哉

私はこの二年間を振り返ると、とても充実した学校生活を送ることができたと思います。特に次の三つの事に力を入れることができました。

一つ目は、一年生の頃からたくさんさんの検定にチャレンジし、資格を多く身に付けることができました。しかし、日商系の検定には現在もとても苦労しています。学校で受験必須の検定で日商系は数多くあり、なかなか合格することができませんでした。このまま合格できなければ卒業も危ういので、三月十日に笑顔で卒業できていくことを想像しながら、今後粉骨砕身努力していきたいです。

二つ目は、一年生の後期から始まった就職活動を積極的に取り組



また卒業式・卒業パーティーも笑いあり泣くこともあり楽しんでみたいと思っと思っています。

一年生の頃はあまり仲が良くなく、あつという間に一年が過ぎこのまま卒業してしまつていいのかと思つていました。しかし、二年生の始めくらいから皆が話すようになりクラスらしくなりました。皆が仲良くなってからもあつという間に時間が過ぎて、今では卒業することを考えると少し悲しい気分になります。しかし、卒業だからさよならではなく、卒業後もこの関係を続けられたいと思っます。

三つ目は、皆と仲良くできたことです。クラスの人は、一年生の頃はあまり仲が良くなく、あつという間に一年が過ぎこのまま卒業してしまつていいのかと思つていました。しかし、二年生の始めくらいから皆が話すようになりクラスらしくなりました。皆が仲良くなってからもあつという間に時間が過ぎて、今では卒業することを考えると少し悲しい気分になります。しかし、卒業だからさよならではなく、卒業後もこの関係を続けられたいと思っます。

めたことです。県内・東海地方を中心に就職先を探し、なかなか決まらなかつたり、採用試験でもうまく自分の意欲や気持ちを表現できず、最初は嫌気がさしたり、このまま本当に卒業できるのかと考えました。しかし、学校で学んだ就職活動対策の勉強や様々なマナーを思い出し、志望理由を明確化させたり、自分の考えなどを会社の採用担当の人に伝えることで内定をもらうことができました。



成長の二年間

宮澤 和弘

私は多くの資格取得を目指して飯田コアカレッジに入学しました。入学時は、将来やこれからの学校生活などたくさん不安を抱えていましたが、あつという間に二年間が過ぎてしまいました。これから社会に出て仕事や生活をしていく中で必要となる知識、ビジネスマナー、考え方を身に付けることができ、数多くの資格を取得することができたこの二年間は、私の中で最も重要なものになったと感じております。

この学校に入学して私が最も意識していたことは、色々な物事に

挑戦してみようということでした。その一つに、飯田市のリニアプランディングプロジェクトの参加があります。ホームページを作ることにりましたが、自分の能力は中途半端で、最初は不安しかりませんでしたが、いざ活動を始めると、作成期限もありとても大変でした。近藤先生にも頼りました、何より一緒に作っていた松島君に頼ってばかりで、大変迷惑をかけたと思います。そんな活動でしたが、このリニアの活動を通してたくさんの人との関わりを持つことができました。自分の住んでいる飯田市に対する関心を持つこときっかけにもなり、今では参加して本当に良かったと思います。

リニア以外にも、スポーツ大会、新人生歓迎会、卒業研究、PC教室などの学校行事やAcces講座のアシスタント、RYLA選挙の出口調査といった学校外での活動など、様々な経験ができました。これからは社会に出て仕事をしていくことになりませんが、常に日々勉強であることを忘れないように心掛けます。また、いろいろな物事に挑戦することも自分にとって必ず得るものがあると思うので、仕事以外の活動にも挑戦していくつもりです。

最後に、私は二年間クラス長をさせてもらいましたが、入学してしばらくはすぐおとなしいクラスで、正直困っていました。ですが今は、とてもよい雰囲気クラスになったと思います。みんなが食事会などに、積極的に参加してくれたのも本当にうれしかったです。ありがとうございます。

二年間とても大変であり、とても楽しかった学校生活でした。入学したての頃は、この学校でしっかりやっていたらかとても不安でした。今までの先輩方が資格を十個以上取っているの聞き、自分もそんなに取れないだろうなとか、授業時間も九十分が増えて授業の内容も難しくなり、授業についていけなくなるかと思っていました。案の定いくつかの授業はついていけなくなりましたが、(苦笑)。そんな感じで学校生活をしばらく送っていましたが、四月の末か五月の初め頃に新人生歓迎会があり、一、二年生と先生方とボウリングや焼き肉をしました。緊張で最初はガチガチでしたが、クラスメイトや先輩方と関わるうちに緊張は解け、とても楽しむことができ、色々な方と仲良くなることができました。この歓迎会のおかげでクラスメイトの皆とより仲良くなることのできたのだと思っています。

二年間の感想

大西 佑典

飯田コアカレッジに入学して二年間とても大変であり、とても楽しかった学校生活でした。入学したての頃は、この学校でしっかりやっていたらかとても不安でした。今までの先輩方が資格を十個以上取っているの聞き、自分もそんなに取れないだろうなとか、授業時間も九十分が増えて授業の内容も難しくなり、授業についていけなくなるかと思っていました。案の定いくつかの授業はついていけなくなりましたが、(苦笑)。そんな感じで学校生活をしばらく送っていましたが、四月の末か五月の初め頃に新人生歓迎会があり、一、二年生と先生方とボウリングや焼き肉をしました。緊張で最初はガチガチでしたが、クラスメイトや先輩方と関わるうちに緊張は解け、とても楽しむことができ、色々な方と仲良くなることができました。この歓迎会のおかげでクラスメイトの皆とより仲良くなることのできたのだと思っています。

授業の方も徐々に慣れていき、内容も理解できるようになってくると資格に挑戦し始めるようになりました。なかなか一発合格とはいかない試験もいくつかあり、何回か挑戦して合格した資格もありますが、資格に合格した時はとてもうれしく思いました。今では資格の取得数も十個以上(??)取ることができ、自分自身こんなに取れるとは思っていませんでした。一年生の十月頃には、飯田市の

リニアシンポジウムのポスター制作に参加させていただいたり、会場のスタッフなどを二年生になってもさせていただき、とても貴重な経験をすることができました。有名人の方々と少しでも関わりを持つことができ、とてもうれしく思っています。このような関わり合いが今後の先輩たちに続いてほしいと思います。

最後になりましたが、この二年間とても得るものが多く、たくさん物事を知り、友人も増え、資格も多く取ることができました。とても感謝しています。本当にありがとうございます。

二年間の思い出

北澤 ゆり子

私は医療事務の勉強をしたいと思ったので、この学校に入学しました。

入学した頃はパソコンもろくに使えなかったのが苦労しましたが、授業で使っていくうちに慣れることができましたのでよかったです。

医療事務の勉強は思っていたより難しく大変でしたが、なんとか資格も取得することができました。一番大変だったことは実習です。一年のときの薬局実習は一人で行ったので自分では不安でしたが、丁寧に指導していただいたので無事に実習を終えることができました。二年の病院実習は医療事務科のメンバーで行ったので、不安なことを相談でき、すぐ心強かったです。実習前に体調を崩してしまっただけでもあり、長い実習期間ちゃんといける

か悩みましたが、先生方や一緒に実習を行う仲間と話聞いてもらうなど支えてもらって実習を終えることができました。今まではできないことがあったらすぐに諦めたり弱音を吐いたりしていましたが、実習を経験したことで忍耐力がついたと思います。実際の仕事の流れを知ることができたことも貴重な経験だったと思います。

学校行事ではスポーツ大会が印象に残っています。あまり運動が得意ではないので当日は楽しみでもあり緊張もしました。二年生最後のスポーツ大会に参加できなかったことが残念でした。

二年生では就活が大変でした。医療事務の求人に応募してもなかなか思うように就活が進まなくて焦っていました。自分に向いていないことをもう一度考えて希望職種を変更することにしました。相談のついでにいただいた先生方にはとても感謝しています。これからは社会人になるので、責任感を持つてがんばりたいと思います。

二年間ありがとうございました。

二年間の思い出

熊谷 竹留

二年前の四月に飯田コアカレッジに入学してから様々な出来事があり、入学時と比べて自分自身にも大きな変化がありました。

自動車学校に通い始めた時期が遅かったため、一年生の最初の頃は自動車の免許がなかなかとれず、四十分ほどかけて学校まで自転車まで通っていました。

平日は授業が終わってから、休日はほぼ一日中自動車学校に居座っていたため、ほとんど名前と顔を覚えてしまいました。その甲斐あつたかその年の八月には免許を取ることができましたが、まだ運転技術の方は未熟なのでいまだに若葉マークをつけて走っています。

在学中、苦労したことは医療事務系の授業や他の人との会話などです。

医療事務では診療報酬や薬価の算定等で計算を間違えたり、検定もあと一歩のところが多かったのが主な反省点です。

入学当初は同じ学科の人に話しかけることすら難しく、分からないところを素直に聞くことができなかったために勉強についていけない、ということもありました。

今現在はその欠点もある程度は改善され、あいさつや長い会話もできるようになりました。

楽しかった思い出は、一年と二年の頃にあった秋のスポーツ大会です。スポーツはあまり得意ではないんですが、バレーやソフト

た。

二年間ありがとうございました。



実習先について

- 事業所名: 社会医療法人 東山会 飯田
- 実習期間: 7月7日(月)~18日(金) 1週間
- 実習者: 大西 佑典, 北澤 ゆり子, 松下 康, 宮下 優香

ボールをプレイしているときは、まるで子供の頃に帰ったように感じて心から楽しむことができました。本当に多くのことがあり、総じて楽しい学生生活でした。

二年間の学校生活

松下 廉

私が飯田コアカレッジへ入学してからあつという間に二年という月日が経ちました。入学したての頃は人見知りということもあり、なかなか周りの人と話をすることができず、「これから先やつていけるのかなあ。」と不安になることもありました。授業や行事で交流していくうちに自然と話すことができるようになりました。

授業では、医療事務は調剤報酬や診療報酬の薬価算定など、どれも細かい規定があつてレセプトを作成するときに点数が足らなかつたり、算定方法を間違えていたりすることが多く、ファイルや教科書で確認しながら間違いを直していくのは大変でした。それを繰り返していくうちに間違いも少しだけれど減らしていくことができました。頑張った甲斐もあり、医療事務では調剤事務や介護職員初任者研修、医事コンピュータなどの資格を取得することができました。

行事では、特にスポーツ大会が印象に残っています。二年生最後のスポーツ大会では、ソフトボールとソフトバレーをしました。ソフトボールは小学校以来やったことがなく、ピッチャーを任せられま

したがコントロールがうまくいかず、最初はボールばかりだしてしまいました。しかし、やつていくうちに何とか真ん中に投げられることも増え、相手をアウトにすることもできました。チームの足を引っ張ってしまった感はありませんが、いい思い出になりました。ソフトバレーは結構得意でボールを拾ったり、点を入れたりすることができて楽しかったです。

文章では書ききれないくらい他にもいろいろなきことがありました。楽しかったり、嬉しかったり、悩んだりすることもありました。そのどれもが自分の力になっていてと思います。これから社会に出る中で挫折しそうなこともあるかと思いますが、その時は、飯田コアカレッジでの学校生活を思い出して乗り越えていきたいです。

二年間の思い出

宮下 優香

私は医療事務の勉強がたくてこの学校に入学しました。最初は、医療の用語もさっぱりわからない状態で、本当に自分が勉強についていけない不安でした。ですが、今では自分が病院に行った時など、どのくらいお金がかかるのか大体わかるようになったことや、薬の種類など色々なことを学べて、医療事務の学科に入つてよかったと思います。

その他にも、友達とのたくさん思い出や学校行事など、いろいろ思い出はありますが、この二年



間でも私が一番に残ったことは薬局と病院での実習でした。実務実習ということで、行く前も実習に行つてからも緊張の連続でした。実習生という立場ではありましたが、薬局や病院に来る患者さんにとつてはそこで働いている職員さんたちと同等にみられることもありました。そのような時や、普段の実習の間にも、もっと知識があればスムーズに仕事ができたなあとと思うことがたくさんあつたし、働いていくうえで、どれだけコミュニケーションが大事かとか働くということの大変さも改めて身に染みしました。学校生活の中で実習に行けたことは、本当に貴重な体験で、本当に感謝でいっぱいです。

就職活動でも、たくさんの人に大変お世話になりました。今の就職先に決まったことなど、この学校に入学していなかったら絶対に決まることはなかったと思います。これから先も色々な人との出会いを大切にしていきたいと思えます。

1 ビジネス学科

一年 関米 文乃

二年生の皆さん卒業おめでとうございます。入学前、初めて行ったオープンキャンパスでは先生ではなく先輩が体験授業をしてくれてとても驚きました。その後の昼食会でも気軽に話しかけてくださり、「あこの学校に入りたくない」と思つたことは今でも記憶に新しいです。

夏休み中、一年生のために簿記の勉強会を開いて丁寧に教えていただき、また通常授業の検定対策でもわからないところを質問する

と快く教えてくださり、とても助かりました。十一月の検定で、一年生の受験者全員が簿記三級に合格できたのは先輩方のおかげだと感謝しています。

スポーツ大会では、二年生が準備から片付けまで率先して行い、とても楽しいものとなりました。着ぐるみを着て場を盛り上げたり、いろんなことを企画してくださつたので、運動が苦手な私でも楽しむことができました。また、飲み物を配るときにやさしく声をかけるなど、常に気を配つてくださったことが印象に残つており、今後は私たちが引き継いでいきたいと思えます。

祝卒業 活躍をお祈りします。

1 ビジネス学科

一年 佐藤 秋花

二年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。一年間という短い間でしたが、色々なところでお世話になり、いくらか感謝しても足りないくらいです。

新人学生歓迎会のボウリングでは、まだお互いが緊張しているなか、「ナイス！」や「ドンマイ」など声をかけてくれたり、その後の焼肉でも気さくに話しかけてくれたり、てきぱきと準備をしていた姿を見てすごいなと思えました。たこ焼きもとてもおいしくて、歓迎会はとても楽しく過ごせまし

た。

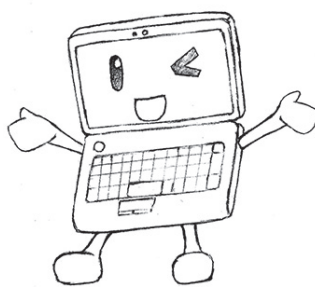
夏休み中の簿記の勉強会では、初めての簿記で悪戦苦闘する私たちにわかりやすく教えてくださり、とてもためになりました。おかげでその後の簿記の授業の内容が楽になりました。

リニアシンポジウムの時も休憩時にいろいろ話しかけてくれたり、かまってくれたりしてとても楽しかったです。

オープンキャンパスで前に立つて授業をしている先輩は、堂々としていてもかっこよかったです。教科書や授業内容はすべて先輩たちだけで企画したと先生から聞いてとても驚きました。

そのほかにもスポーツ大会でも

という短い期間の中で先輩方にはとてもたくさんのお手本であり目標もありました。まだまだ未熟な私たちですが、努力して先輩方に少しでも追いつけるように頑張ります。



みんなで楽しめるようにと企画・運営してくれたり、検定対策の時間でもわからないところをやさしく教えてくれたりと、とても頼りになりました。

先輩方はこれで卒業して社会人になり厳しい世間に一人で立ち向かっていきますが、その中でこの学校の思い出が少しでも支えになってくれたら幸いです。私たちも先輩方のように、来年に入学してくる新一年生を温かく迎え入れられたらなと思つています。

●新入生歓迎会 5月2日(金)

新入生歓迎会が行われました。

午前中はアストロボウルでボウリングをしました(*^_^*)校長先生の始球式のあと、チーム戦での試合が始まりました！1年生も2年生もお互い話したことの無い相手だったので、最初はぎこちない雰囲気でしたが、ゲームが進むに連れ次第に打ち解け、ハイタッチをしたり、声を掛け合ったりして、明るく楽しいゲームとなりました。(=^▽^=)そして、優勝した2年生は、なんと150点代の点数を叩き出しました。



景品はなんと!!可愛らしいぬいぐるみでした! (^o^)/
ボウリングの後は、学校に戻り焼き肉をしました。打ち解けた雰囲気のまま和気あいあいと行われました。
天気が心配されましたが、暖かい日差しの中みんなお肉をほおぼっていました。
今年は焼き肉の他に、2年生が密かにこ焼きパーティーを企画していて、1年生や先生方に振る舞いました。回を重ねるごとに味が上達し、作る側も食べる側もわいわい楽しんでいました(≧▽≦)/
これをきっかけに、1,2年生が更に仲良く学校生活をおくれたらいいと思います!

●学生パソコン教室 7月19日(土)

2年生による無料パソコン教室を開催しました。

日頃学習しているコンピュータの技能を、地域貢献の一環として地域の方々にも知っていただきたいと思い、ITスペシャリスト学科とITビジネス学科の学生が春から準備をしてきました。今回は3グループに分かれ、それぞれテーマを決めてわかりやすいテキストの製作と広報などを、役割を分担して進めてきました。当日は約60名の地域の方が参加していただき、学生の講義を熱心に受講してくださいました。

始めに全員で開講式を行い、その後それぞれの教室に分かれて講義を行いました。

【Aチーム】パソコンの基本操作

Aチームでは、文字入力的基础、インターネットの閲覧方法、画像の保存の仕方、USBメモリーの使い方などを行いました。
インターネットの閲覧方法では、今流行りのYouTubeやWikipediaについて使い方を紹介し、受講生の方も興味深く聞いてくださいました。USBメモリーへのデータのコピーの仕方は、特に真剣に取り組んでくださいました。

【Bチーム】サイトの簡単な使い方

Bチームでは、基本的なブラウザの使い方と便利なWEBサービスの利用方法についての講座を行いました。
パソコン初心者の方に多く集まっていたので、レシピサイトの使い方や地図の閲覧方法などを出来る限り分かりやすくお伝えし、受講者の感想でも一人ひとり親切に対応してもらった旨の感謝が多くあり良かったと思います。想定していた接続のトラブルも少なく、皆様感心したり喜んでくださったので大変教え甲斐がある講座となりました。休憩時間でも学校生活についてお話しさせて頂き地域の方と大変有意義な交流が行えました。受講生の方が今回の講座内容を今後の生活の中で活かして頂ければとても嬉しく思います。

【Cチーム】うきうき家計簿

Cチームではうきうき家計簿を使って、家計簿をつけました。

受講後に、家で家計簿をつけてみようと思いました、という感想をいただき、やって良かったと思いました。受講生の方が、真剣に講師の話の聞いてくださり、講師の説明が分かりやすいと言ってくくださったので嬉しかったです。分からないことがあった時にすぐにアシスタントに聞いてくださるので、一緒に家計簿をつけているようで受講生も学生もとても充実した受講内容だと思いました。今回見つけた反省点や良かった点を、今後パソコン教室を運営する1年生に引き継いでもらいたいと感じました。



●日本語検定で団体最優秀賞受賞♪ 10月10日(金)

学生が受験する検定に日本語検定がありますが、今年の6月に団体で受験し、2,3級合わせて12名の受験者全員が合格したということで「東京書籍賞 最優秀賞」を受賞し、賞状と記念の盾をいただきました (^o^)/

東京書籍の担当の方が学校まで届けてくださったので、校内で表彰式を行いました (^_^)v
またこの快挙に続いて、1年生がMOS Power Point2010、2年生はMOS Excel2010ExpertとWebクリエイター能力認定試験初級・上級に受験者全員が合格するという、素晴らしい成果を上げています。

飯田コアカレッジで努力した証が検定合格という形で残せることは、学生にとって励みになるので、教員もますます授業に力が入ります。11月もまた検定試験が目白押しですが、1つでも多くの資格取得ができるよう、頑張ってくれることを期待しています。

●VBA 体験学習(飯田 OIDE 長姫高校) 10月23日(木)

飯田 OIDE 長姫高校 商業科情報コースの2年生 12名が、本校で Excel VBA の体験学習を行いました。来年から始まるプログラミングの授業に興味を持って臨んでもらいたいという飯田 OIDE 長姫高校からのご依頼で実現しました。

本校では、IT ビジネス学科と IT 医療事務学科の学生が2年生になると Excel VBA の授業があります。業務の効率向上に役立つスキルの習得を目的としてカリキュラムに入れ、1年間基礎から応用までを学びます。

今回の体験学習では、VBA 入門ということで午前の授業は、簡単なコードの入力や修正をしながら、いくつかのステートメントについて学びました。午後からは、自分の入力したコードで実際に動作することで達成感と、「ものづくり」の楽しさを感じてもらいたいと考え、



入門にしては少し難易度が高いコードにも挑戦してもらいました。

高校生の方々の一生懸命に取り組む姿勢に、アシスタントに入った本校の学生2名も、エラーが発生した原因を説明したり、コードの修正をサポートしたりと熱が入りました。

生徒さんたちのアンケートには「専門用語が多くて難しかった」「理解するまでには至らなかった」という感想がありましたが、「VBA に興味を持った」「達成感があった」「自分の力でプログラミングしてみたい」という前向きな感想もたくさんあり、来年の今頃は熱心にプログラミングに取り組んでいる姿が想像できます。

飯田コアカレッジで体験した「初めてのプログラミング」が、今後の知識と技術の向上につながって行ってくれればと願っています。

●卒業研究発表会 2月4日(水)

IT スペシャリスト学科と IT ビジネス学科の学生にとって、2年間の集大成ともいえる卒業研究発表会が行われ、IT スペシャリスト学科の学生8名、IT ビジネス学科の学生9名が、10月から取り組んできた研究の成果を発表しました。

今年度の卒業研究は、企業や自治体と連携したうえでユーザーが使いやすいシステムの構築をテーマに制作しました。また、就職をしてからの仕事を想定してグループで取り組み、制作過程で連携先の担当者の要求や第三者のアドバイスを取り入れてきました。

発表会には、招待した2年生の内定先や卒研にご協力いただいた企業・自治体の方など、多くの方が来場してくださいました。大勢の人達を前に緊張した様子でしたが、企業の方の要望などをもとに制作した作品はどれも高度なもので、研究の過程を説明したり、実際に動かしたりなど堂々と発表をしていました。

ご来場いただいた方からは、感想だけでなく今後さらに発展させられるようなご提案と実際に現場で活用できるといった高い評価をいただき、2年生にとって大きな励みになったようです。

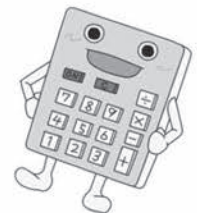
発表した皆さん本当にお疲れ様でした。

:.* 発表した2年生の感想です *.*.

- ・大勢の人の前で発表するのはやはり緊張しました。
- ・発表中は成功することを願ってやっていました。
- ・1年生は来年卒業研究があるので、頑張ってください。

:.* 1年生の感想です *.*.

- ・企業の方や先生方の要望にしっかりと応えたシステムを作成していたことに感心しました。
- ・少し緊張していた感じでしたが、堂々と発表しており来年は自分もやることになるので、見習いたいです。



●社会人セミナー 2月5日(木)



飯田コアカレッジを卒業し、4月から社会人となる2年生に向けて「社会人としての心構えと電話応対等のビジネスマナー実践編」の特別講義が実施されました。

講師として、JAみなみ信州 総務部人事教育課の方が来てくださり、社会人になるために必要なことを教えてくださいました。

社会人に必要な心構えとして、自己管理を怠らないことや与えられた仕事に責任を持つことなどを教えていただき、尊敬語・謙譲語の使い分け、電話応対に必要な言葉使いなども学ぶことができました。学校の授業の中でも、ビジネスマナーについて学んではいましたが、この特別講義では電話応対の実践的な受け方と取り次ぎ方をしっかり学ぶことができ、講師の方から実際の現場について聞かせていただき、とても勉強になりました。

今後、社会人としてこの特別講義で学んだことを活かせるよう頑張りたいです。

平成27年度生募集

最終選考 3月28日(土)

ITスペシャリスト学科 **就職に強い!**
 ITビジネス学科 (2015年3月卒)
 IT医療事務学科 **就職内定率95%**
 (2月末現在)
 IT専攻科[1年制] **高い資格取得実績**
 (2013年度)
卒業生平均18個取得

オープンキャンパス

高校1・2年生対象

3月28日(土)

(6月以降毎月1回実施) 9:30~12:30

内容: 学校・学科説明、体験学習、懇談、進路相談

体験: **Unityでゲームを作成**
会計ソフトで会社の経理を体験
医療事務の仕事を実際に体験

懇談: 先輩からいろいろな話を聞こう

介護職員初任者研修

平成27年度実施予定

第1期 5月9日(土)~8月11日(火)
 (受付4月上旬~)

第2期 10月下旬~1月下旬(受付9月中旬~)
 (毎週火・木曜 18:00~21:00 土曜 9:00~17:00)

- 特徴・専門学校ならではの整った教育環境
- ・実践力が身につく充実した現場実習
 - ・介護の現場で活躍中の信頼できる講師陣
 - ・仕事を続けながら資格取得が可能

いつからでも入塾できる
 月謝 5,000円のお手軽パソコン教室

おもしろパソコン塾 好評開催中

- ・カレンダー・同窓会のご案内・バザーのちらし
- ・年賀状・血圧記録簿・スケジュール表など

作りたいものがなんでもできちゃう!!

少人数制の楽しいパソコン教室です。
 お気軽にお問合せください!!

IEC 飯田コアカレッジ お問い合わせ先
 0265-22-5111

二年間を振り返りながら原稿に目を通していると、時の流れの速さを改めて実感します。卒業される皆さんは、日々の学園生活の中で、友人との友情を深め、資格取得に懸命に努力されました。二年間の成果を十分に発揮し、社会人として大いに活躍されますことを祈念申し上げます。学園に残る私達は、先輩方の残された伝統を継承しながら、さらに活発な学園作りを目指して頑張る所存です。

編集後記

平成26年度 各種資格・検定合格者

資格・検定名称	合格者氏名
情報処理技術者試験 基本情報技術者	川島佳晃
情報処理技術者試験 ITパスポート	川島佳晃、若尾なつ美、和田健、福澤理恵、勝野浩太郎
情報検定 情報活用 1級	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、久保田裕介、佐藤秋花
情報検定 情報活用 2級	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花、村澤美紀
情報検定 システムエンジニア認定	勝野浩太郎
MOS Master	川島佳晃、畑和輝、堀知海、宮澤貴裕、吉本駿、若尾なつ美、和田健、坂根昌哉、櫻井愛斗、館野春美、秦治雄、福澤理恵、松島慎哉、宮澤和弘、大西佑典、北澤ゆり子、熊谷竹留、松下廉、宮下優香
MOS Word2010 Expert	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花
MOS Excel2010 Expert	市岡拓美、川島佳晃、畑和輝、堀知海、宮澤貴裕、吉本駿、若尾なつ美、和田健、牛山竣介、片桐康汰、坂根昌哉、櫻井愛斗、館野春美、秦治雄、福澤理恵、松島慎哉、宮澤和弘、大西佑典、北澤ゆり子、熊谷竹留、松下廉、宮下優香
MOS Power Point2010	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、開米文乃、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花、小池穂乃華、村澤美紀
MOS Access2010	市岡拓美、川島佳晃、畑和輝、堀知海、宮澤貴裕、吉本駿、若尾なつ美、和田健、牛山竣介、片桐康汰、坂根昌哉、櫻井愛斗、館野春美、秦治雄、福澤理恵、松島慎哉、宮澤和弘、大西佑典、北澤ゆり子、熊谷竹留、松下廉、宮下優香
Webクリエイター能力認定試験 上級	松島慎哉
Webクリエイター能力認定試験 初級	市岡拓美、川島佳晃、畑和輝、堀知海、宮澤貴裕、吉本駿、若尾なつ美、和田健、牛山竣介、片桐康汰、坂根昌哉、櫻井愛斗、館野春美、秦治雄、福澤理恵、宮澤和弘
CAD利用技術者試験 2級	岡田龍彦
硬筆書写技能検定 3級	大西佑典、池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、開米文乃、勝野浩太郎、久保田裕介、小池穂乃華、村澤美紀
秘書技能検定 2級	福澤理恵、北澤ゆり子、松下廉、宮下優香
秘書技能検定 3級	片桐康汰、櫻井愛斗、秦治雄、福澤理恵、宮澤和弘、大西佑典、北澤ゆり子、松下廉、宮下優香
ビジネス能力検定ジョブパス 2級	川島佳晃、畑和輝、宮澤貴裕、吉本駿、若尾なつ美、館野春美、秦治雄、福澤理恵、松島慎哉、北澤ゆり子、松下廉
ビジネス能力検定ジョブパス 3級	和田健、熊谷竹留、池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、開米文乃、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花、小池穂乃華、村澤美紀
Excel表計算処理技能認定試験 1級	館野春美
日商PC検定 文書作成 2級	市岡拓美、川島佳晃、堀知海、若尾なつ美、坂根昌哉、館野春美、秦治雄、福澤理恵、宮澤和弘、大西佑典
日商PC検定 文書作成 3級	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花
日商電子会計実務試験 初級	福澤理恵、大西佑典、北澤ゆり子、松下廉、宮下優香
日商簿記検定 2級	堀知海、久保田裕介
日商簿記検定 3級	館野春美、岡田龍彦、勝野浩太郎、佐藤秋花
実用英語技能検定 準2級	池上芳彦
実用英語技能検定 3級	堀知海、松島慎哉、池上芳彦、内山史哉、勝野浩太郎、小池穂乃華、村澤美紀
実用英語技能検定 4級	岡田龍彦、小池穂乃華、村澤美紀
日本語検定 2級	福澤理恵
日本語検定 3級	池上芳彦、内山史哉、岡田龍彦、開米文乃、勝野浩太郎、久保田裕介、佐藤秋花、筒井柊斗、片桐菜都美、村澤美紀
日本語検定 準3級	小池穂乃華
医療秘書技能検定 3級	大西佑典、北澤ゆり子、松下廉、宮下優香
医事コンピュータ技能検定 3級	大西佑典、北澤ゆり子、松下廉、宮下優香
医科医療事務技能認定試験	大西佑典、宮下優香
介護事務技能認定試験	大西佑典、北澤ゆり子、熊谷竹留、松下廉、宮下優香
調剤事務技能認定試験	小池穂乃華、村澤美紀
介護職員初任者研修	若尾なつ美、片桐康汰、小池穂乃華、村澤美紀